

相模原中RC  
会報

第 1995 回例会

3月12日 No.33

会長 早川 正彦

Rotary



インスピレーションになるう

幹事 佐々木 敏尚

## ●友好クラブ

韓国・龍仁ロータリークラブ  
国際ロータリー第 3600 地区  
台湾・台中文心ロータリークラブ  
国際ロータリー第 3461 地区

## ●姉妹クラブ

千曲川ロータリークラブ  
国際ロータリー第 2600 地区

## ●提唱インターアクトクラブ

光明学園相模原高等学校

## 卓話「失敗から学んだ社長の心得」(写真は略にて)

高本 昌敏

今日の卓話は、丸子会員からご推薦をいただいた「社長の心得」という本を読んでみて参考になった内容を一部ではありますが、私の失敗談を合わせてご紹介します。



## 会社が働く人に与えることのできる幸せの第一は、働くことそのものから得られる幸せである。

自己実現とは、人間の合目的な生産活動の過程で、ある対象に働きかけ、それを獲得しながら、人間としての豊かな自己の能力や個性を実現させていこうとするもの。

私自身は仕事から、この「自己実現」を感じたことはありますが、従業員に対してこの「自己実現」について話したことは、まだ一度もありません。なぜなら仕事を通じて得られる「自己実現」というのは、自分で見つけるものだと思っていたからです。

しかし、社長は従業員が仕事から自己実現を見つけられるような経営を行わなければ、従業員が仕事から自己実現を見つけることは難しいと、この本を読んで思いました。

## 利益は、「目的」ではなく「目標」である。

私がまず気に入ったのが、「利益のため」ではなく、「利益が出るくらい」の良い仕事をしなければならぬ、この文章です。

私は、ついつい目先の利益ばかり追いがちで

が、やはり利益を先に求めると、なぜかまとまる話もまとまらず、逆にお客様の役に立てるためにはどうすればいいかを先に考えて行動した時は、うまくいくことが多かったように思います。利益は良い仕事をしているかどうかの尺度としてとらえ、先に良い仕事することに集中しようと思いました。

## 良い会社には必ずしっかりとした理念があり、それが徹底されている。そして、社長がそれを「指揮官先頭」で実践している。

実にお恥ずかしい話ですが、私は今まで経営理念というものを、あまり真剣に考えたことがありませんでした。当然ながら経営理念が無いものですから、指揮官先頭に立って実践することなどできません。このあたりが今一步、会社が発展していかない原因の一つではなかったのではないかと、今更ながら考えてしまいました。しかし今日は、しっかりと当社の経営理念を考えてきました。こちらは卓話の最後に発表したいと思います。

## お客さまに喜んでいただくための小さな行動や環境整備を徹底すれば、結果として確実に業績に結び付く。

これを見て、まず私が思ったのは従業員の基礎力を高めるために、社内の環境整備も必要であるといったことが、私にとって全く新しい発見であり、同時に失敗であったと気づきました。今まで当社の社内環境は、決して悪くはないと

勝手に思っていたのですが、従業員の基礎力を高めるために、環境整備が整っているのかという目線で考えてみると、やはり従業員が不便を感じることなく仕事ができるくらい環境整備はできていなかったように思いました。

具体的には、良い仕事をするのに必要な備品や道具が自分の分は十分にあるにもかかわらず、従業員には十分と言えるほど行き届いていなかったように思うのです。

今後はお客さまの求める商品・サービスを提供していく力をより高めていくためにも、自分よりも先に従業員への環境整備を徹底していかなければと反省しました。

## 「仕事は楽しいからやるのではなく、生活のためにやらなければならないもの」という仕事観が、モチベーションを阻害している。

実は最近まで私も同じように考えていました。仕事というのは、生活のためにやらなければならないもの。もちろん仕事のすべてが生活のためとは考えていませんでしたが、つい仕事で忙しい時や辛い時が重なると、「仕事は生活のため」と割り切るようにしていました。

しかし、これが良くない。何が良くないのか。仕事は生活のためと考えると、良い仕事ができないうですね。良い仕事ができないと、稼げなくなります。稼げなくなると、さらに生活のために仕事をしなければならなくなる、この悪循環にはまっていた時期もありました。

しかし、最近になって私は仕事観を変えました。ではどのように変えたのか？ 今は「良い仕事をして、仕事そのものが喜びとなるよう努力する」というのを心がけています。これが今の私の仕事観です。

## 「楽な仕事はないが、楽しい仕事はある」

本田 宗一郎

これは私が尊敬する偉大な経営者の一人、本田宗一郎さんの言葉です。シンプルな言葉の中に、実に含蓄のある、ひとつの真実だと私は思います。社員に与えられる幸せは、「働く幸せ」と「経済的幸せ」であり、この順番を間違えてはいけない。

働くこと自体の喜びを社員にわかってもらう、これが大変重要なのですが、とても難しい！

私がいつもやっているのは、働かなければ経済的な幸せを得ることができないといったことばかりを従業員に話していました。

しかしこれは間違っている。まず先に働く幸せを知ることができて、次に良い仕事ができるようになり、その結果として経済的な幸せを手にすることができる。

これが正しい順序であり、この順番を間違えずに従業員に教えなければならないと思いました。この「働く幸せ」について、また別の、私が尊敬している経営者の一人、松下幸之助さんはこうおっしゃっていました。

## 「働くことそのものの喜びを知らない人は不幸である」

松下 幸之助

一説によると、人が人生で働いている時間は3割と言います。このことから従業員にはまず先に経済的幸せよりも、働くことから得られる幸せを教えなければと思います。

## 長期的にビジネスを成功させる経営者は、普遍的な哲学を持っている。

今さらなのですが、今までの自分の仕事人生を振り返ってみると、哲学と言えるような立派なものとは当然なく、仕事に対する基本的な考え方も、正直言って曖昧だったように思うのです。

やはり経営者であり続ける以上、少なくとも基本的な考え方は、しっかりと確立していなければならないと改めて痛感しました。

経営者の哲学について、また別の、私が尊敬している経営者の一人、稲盛和夫さんはこうおっしゃっています。

## 「成功は、能力×熱意×考え方だ」

稲盛 和夫

この言葉、足し算ではなく、掛け算になっているところが重要です。ほんの少しの違いでも大きな結果となるそうです。つまり、3つの要素全てが大事ということだと思います。

また、能力と熱意はゼロから100まであるようですが、考え方はマイナス100からあるようです。

これは能力と熱意が十分にあって、考え方が大きく間違っていると、ゼロどころかマイナスの結果を生み出してしまうといった危険性も含まれているということを稲盛さんはおっしゃっているのだと思います。



## <丸子会員に喜寿のお祝>



本日は喜寿のお祝をありがとうございます。私は、ついこの前まで、まだ少年だと思っていたのですが・・・、いつ間にか喜寿となりました。

昨年度まで、ずっと仕事に関わってきたのですが、今年から無職になって、これは命を縮めかねないと思いました。在職中には社員に「目標に向かって！」と言っていましたので、今度は自分自身で目標を作りました。それは「88才の米寿までいきいきと生活すること」と決めました。

そのために健康面では、毎朝1時間の散歩と月に2回ゴルフをして、体力的には心配ないと思っていますが、脳を活性化できるよう、“会社経営研究会”を自分なりに立ち上げました。

目的としては、経営のテーマを学んだり、若い会社経営者の悩みや、問題を話し合ったりなどして、88才まで元気にやっていきたいと考えていますので、宜しく願い致します。(概要にて)



おめでとうございます  
これからも、ますますご元気で!

## <委員会報告>

○米山奨学委員会

藤本委員長



先週3月6日に「地区公共イメージ・米山奨学合同セミナー」があり、横溝会長エレクトと豊岡次年度米山委員長、次年度公共イメージ委員長の私の3名で出席してきました。

当日は米山奨学生11名を含め、各クラブから約200人を超える参加者でした。内容的には基調講演とポリオ、米山の話がメインで、終了後は米山奨学生による各国の料理を堪能しながらの懇親会でした。

米山記念奨学会の名誉理事長である小沢氏の基調講演では、米山奨学会は世話クラブとカウンセラーというすごい制度があり、また小児麻痺と呼ばれているポリオの常在国が、あとパキスタンとアフガニスタンの2か国だけだが、紛争地域なので撲滅まで、まだまだ大変であるという話でした。

次年度公共イメージ委員会の活動方針は「ポリオ活動のアピール」ということなので、横溝会長エレクトとも相談し、進めていきたいと思っております。



## 例会報告

1. 第2780地区ガバナー事務所より  
ありません
2. 丸子勝基会員が3月8日に喜寿を迎えられましたので、内規により記念品贈呈。
3. 卓話「職業奉仕月間」での集計アンケート結果が届きましたので、回覧しております。

※下記4つの出欠表を回覧しておりますので、日程をお間違いのないようご記入をお願い致します。

- ①3クラブ合同夜間例会(移動例会)  
3月25日(月)18:30～ 場所:敦煌(相模原駅より徒歩5分) 会費:2,000円
- ②新会員・平山会員歓迎会(会員有志)  
4月3日(水)18:30～ 場所:敦煌(相模原駅より徒歩5分) 会費:5,000円
- ③かめりあRC認証状伝達式(会員有志)  
4月14日(日)12:30～ 場所:センチュリーホテル相模大野 登録料:会員負担金5,000円
- ④奉仕事業・第2回セラピー犬活動(会員有志)  
3月30日(土)9:30～12:00頃 現地集合・現地解散 場所「あじさい会館」

## 例会プログラム

- 3月19日「会長エレクトセミナーの報告」  
担当:横溝会長エレクト
- ※20日米山奨学生 張さん送別会  
※22～24日台湾・台中文心RC訪問  
26日→25日(月)移動例会・合同夜間例会  
18:30点鐘 「敦煌」にて  
※26日第5グループ親睦ゴルフコンペ  
※30日奉仕事業・セラピー犬
- 4月2日「新会員の集い」報告  
担当:河野会員、大槻会員  
定例理事役員会

## <3月お祝・結婚記念日祝>



- ・横溝 志華会員 3月1日
- ・大槻 実会員 3月7日
- ・中山 徹男会員 3月11日
- ・金沢 邦光会員 3月12日
- ・田後 隆二会員 3月25日
- ・老沼 秀夫会員 3月29日



## 例会記録

点 鐘 12時30分  
場 所 相模原市民会館「あじさいの間」  
司 会 大塚 正浩 副SAA  
斉 唱 ロータリーソング「奉仕の理想」  
ソングリーダー 中村 勝彦会員

## 出席報告

会 員	出席(出席対象31名)	事前メイク者
38名	30名	2名
欠席者	本日の出席率	修正出席率(2/26)
4名	88.89%	83.78%



- 事務局 〒252-0239 相模原市中央区中央3-12-3  
相模原商工会館3F  
TEL 042-758-5750 FAX 042-758-1605
- 例会場 相模原市民会館「あじさいの間」  
〒252-0239 相模原市中央区中央3-13-15  
TEL 042-752-4710 FAX 042-753-2000
- E-mail: [rotary@tbg.t-com.ne.jp](mailto:rotary@tbg.t-com.ne.jp)

- 編 集 親睦活動委員会  
委員長:伊倉 正光 副委員長:小崎 直利  
委員:川合 貞義、田所 毅、櫻内 康裕  
田後 隆二、中山 徹男、高本 昌敏  
横江 利夫、山之内 洋、河野 崇  
中村 勝彦、大槻 実、平山クリフォードモリス
- <http://sagamiharanaka-rc.jp/>